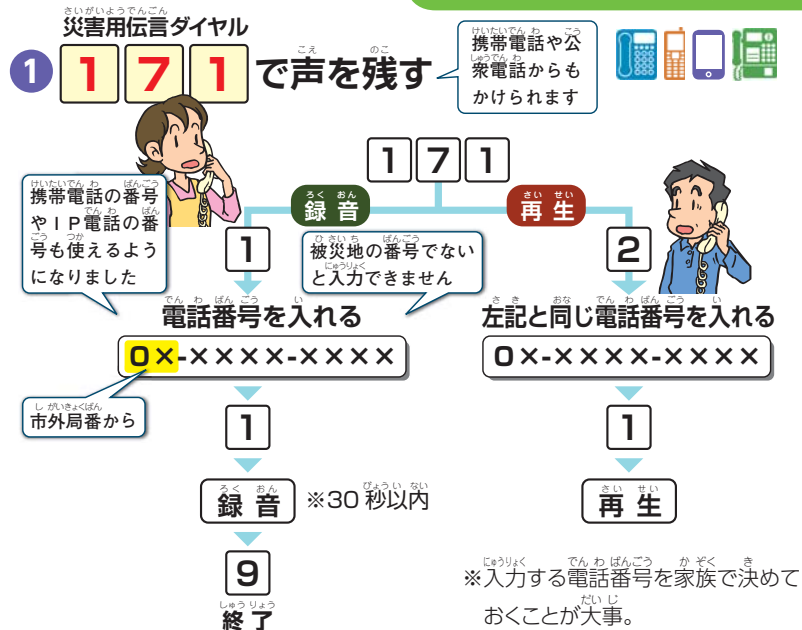


家族との連絡方法、集合場所を決めておこう

災害時、最も心配になるのは家族の安否です。多くの場合、仕事や学校などで家族は日中離れて生活しています。人は誰も家族の無事を確認できなければ安心できません。東日本大震災でも通信回線がつながりにくくなり、安否確認に手間取るケースがほとんどでした。大災害は、ライフラインのひとつである通信にも大きな打撃を与えます。しかし通信手段が全滅を免れてさえいれば、時間はかかっても安否情報を伝えることは可能です。その際に有効なのは、複数の通信手段を使って連絡が取れる確率を少しでも高めることです。

音声による連絡方法

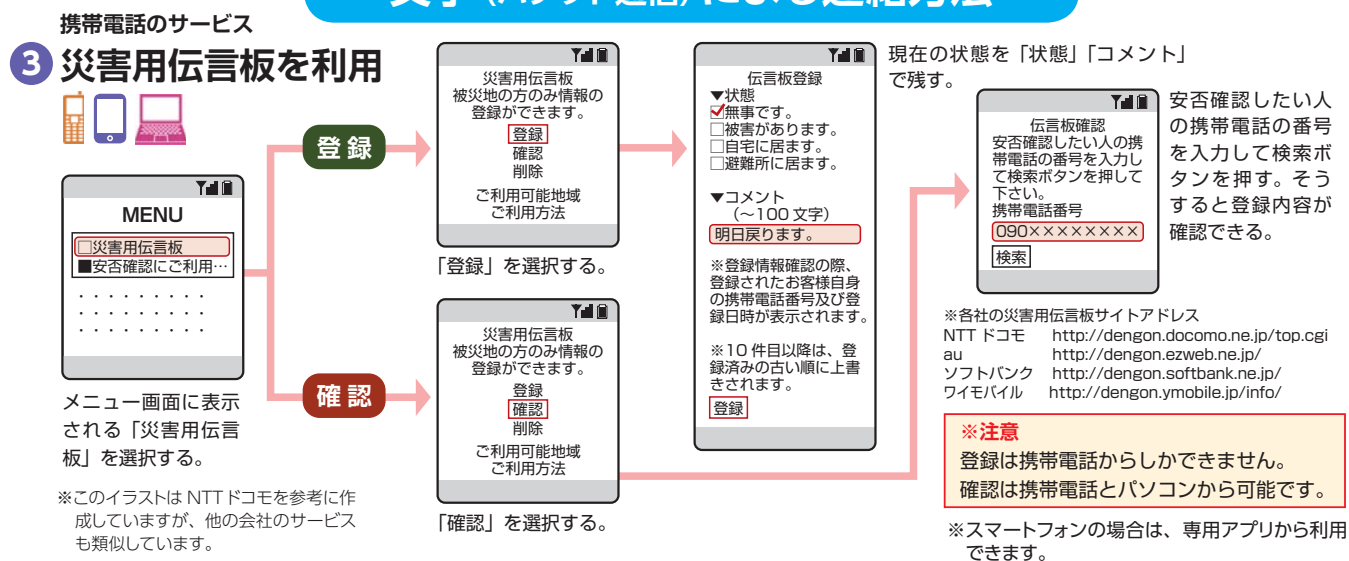


2 公衆電話を使う

災害時、公衆電話は一般回線より優先的に回線が確保されます。また、災害時には被災地の公衆電話は無料で使えます(国際電話は使えません)。ただし、旧型の公衆電話(グリーン本体とシルバーのボタン)の場合、10円玉かテレホンカードを入れないと電源が入りません。被災地以外で使用する場合は、テレホンカードや10円玉を持っていると便利です。



文字(パケット通信)による連絡方法



携帯電話回線やインターネット回線を使った新しい連絡方法

4 Twitter ツイッター

個々の利用者が短い文章を投稿し、それに書き込みを加えたり、閲覧できる無料サービスです。投稿や閲覧は携帯電話、パソコンやスマートフォンから可能です。



メリット 災害時、比較的つながりやすい。携帯電話に限らずパソコンから投稿や閲覧ができる。他の利用者にダイレクトメッセージが送れる。

デメリット 使い慣れていないといざという時に使えない。

5 LINE ライン

アプリをインストールしておけば、複数人のグループ通話を含む音声通話やチャットが可能です。通話は通常の音声電話と異なり、パケット通信を利用するインターネット電話です。スマートフォン、タブレット、パソコンで利用できます。



メリット 複数人と一度に連絡が取れる。既読機能により、緊急事態で返信が出来なくても、相手は読んだことがわかる。

デメリット 使い慣れていないといざという時に使えない。安定した通信環境でないと、通話がしにくい。

その他、災害時に役立つ携帯電話の機能

緊急地震速報

東日本大震災以降、対応機種が増加。非対応の携帯電話もあるので、確認が必要。

テレビやラジオ

ワンセグ対応携帯電話の場合、テレビ番組を受信することができる。ラジオが聞ける機種もあり、これらは停電時もテレビ・ラジオ放送からの情報入手が可能。

地図

地図のサービスを利用することで、学校や公園などの避難所や病院を探することができる。GPS機能付きであれば、地図サービスと連携し、現在地から最も近い避難所などをナビゲートしてくれるシステムもある。

懐中電灯やホイッスル

非常時のライトとしても代用できる。ブザー機能があればホイッスルの代わりになる。

長持ちさせるための備品

予備の電池

充電器

電池式の充電器：乾電池を入れて充電するタイプ

手動式の充電器：手動で発電し充電するタイプ

ソーラー式充電器：太陽光で発電し充電するタイプ

緊急時の充電


携帯電話会社の公式ショップでは、災害発生時に充電サービスを提供している。近所の公式ショップの場所を普段から確認しておこう。

吹田市から市民の皆さんへの主な避難情報の広報手段

吹田市 (left side)

市民の皆さん (right side)

- 防災行政無線の災害広報用拡声器から(防災マップ参照)
- 消防機関から
- 市広報車から
- テレビ・ラジオから。また、吹田市との協定によりケーブルテレビやFM千里から緊急情報を提供します。
- 「おおさか防災ネット」から
 - 使い方：<http://www.osaka-bousai.net/suita/>
 - また「おおさか防災ネット」の「防災情報メール」配信サービスから
 - 使い方：<http://www.osaka-bousai.net/suita/PreventInfoMail.html>
 - QRコードを携帯電話から読み込んで空メールを送信し、登録することもできます。
- 「緊急速報メール」から(下記参照)



緊急速報メールで災害時に緊急情報を発信します

避難勧告・避難指示(緊急)などの緊急情報を、より多くの市民へ迅速に提供するため、市は携帯電話事業者による緊急速報メールサービスを運用しています。

緊急速報メールとは、市内にいる携帯電話の利用者に緊急情報を一斉配信するサービスです。緊急非常事態時に回線混雑の影響を受けにくく、受信すると専用着信音と画面でお知らせ

せします。メールアドレスの登録や受信料など一切不要で、一時的に市内にいる通勤者や旅行者にも配信されます。

ただし、機種によっては携帯電話の受信設定が必要な場合や、一部機能が利用できない場合もあります。詳しくは各社ホームページで確認してください。

NTTドコモのホームページ	ホーム → サービス・機能	いつでもあんしん	緊急速報「エリアメール」
ソフトバンクのホームページ	HOME → モバイル	サービス	緊急速報メール
auのホームページ	トップ → スマートフォン・携帯電話	お読みください 災害時・緊急時対策	緊急速報メール
Y!mobileのホームページ	ホーム → サービス	安心・安全	緊急速報メール

◆緊急速報メールの詳細は各社ホームページまで◆

さいがいようでんごん
災害用伝言ダイヤル 171・
でんごんぼんたいげん
伝言板体験デー

- 毎月1日と15日、正月三が日
- 防災週間(8/30～9/5)
- 防災とボランティア週間(1/15～1/21)

もしもの時のために
ぜひお試しください。